

# 知ろう！「子どもの権利条約」

## 対 象

小学生（高学年）から中学生

## ねらい

- 日常生活で起こり得る場面と「子どもの権利条約」を関連づけて考える活動を通して、「子どもの権利条約」について理解し、人権を尊重する意識を高める。

## 留意点

- ・(公財)日本ユニセフ協会ホームページ(<http://www.unicef.or.jp/>)の「子どもの権利条約カードブック」を提示する。
- ・学級の実態により配慮が必要な場合は、例文を変更して扱う。



日本ユニセフ協会・「子どもの権利条約カードブック」

## 特別支援学校での取り組み方法

- ・「子どもの権利条約」に触れながら説明をする。
- ・例文を提示する際に、ロールプレイなどを取り入れたり、分かりやすい例文に変えたりして工夫をする。

## 学習指導要領との関連（例）

- ・小学校5・6年 道徳 A、B
- ・中学校 道徳 A、B 社会「公民的分野」C

## 進め方

流れ	展開と内容
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"><li>・「子どもの権利条約」を知っていますか。</li><li>・「子どもの権利条約」はみなさんにも認められている権利です。 (「子どもの権利条約カードブック」を活用)</li></ul>
展開 (30分)	<p>【ワーク1】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「子どもの権利」には、大きく分けて下の4つの権利があります。当てはまる内容を線で結んでみましょう。</li></ul> <p>【ワーク2】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・二人の言葉と権利をつなげて考えたことを書きましょう。</li><li>・グループで話し合ってみましょう。</li></ul>
まとめ (10分)	<p>【ワーク3】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・気づいたことや考えたことを書きましょう。</li></ul>

【短縮して実施するためのアイデア】ワーク1、2を中心に実施する。

# ワークシート 「知ろう！『子どもの権利条約』」

1 「子どもの権利条約」をしていますか？

- 「子どものけんり」 = 子どもが幸せに生きて育つために必要なこと
- 「条約」 = 国と国、または多くの国どうしのやくそくごと

「子どもの権利条約」というのは、世界中の子どもが幸せに育っていけるように、たくさんの国があつまって決めたやくそくです。

「子どもの権利条約カードブック」でどんな権利があるかみてみましょう。

2 「子どもの権利」には、大きく分けて下の4つの権利があります。それぞれの権利に当てはまる内容を選び、線で結んでみましょう。

「子どもの権利」には、大きく分けてこのようなものがあります。

【生きるけんり】

【育つけんり】

【守られるけんり】

【参加するけんり】



子どもを苦しめるようなことから守られること。 障がいのある子どもなどは特に守られること。	自分に関係のあることについて自由に意見を表したり、団体を作ったりできること。	勉強したり、あそんだりして持って生まれた能力を十分にのびしながら成長できること。	住む場所や食べ物があり、病気やけがをしたら治療を受けられ、差別をされず、命が守られること。
---	--	--	---

参考「子どもの権利条約カードブック」(公財)日本ユニセフ協会

3 二人の言葉と権利をつなげて考えてみましょう。その後、グループで話し合ってみましょう。

<Aさん>

わたしは、けがをしたことがありました。その時、友だちができる遊びを考えてくれて、一緒に楽しく遊ぶことができました。

<考えたこと>

<Bさん>

ぼくは、少し前から、仲がよかった友だちから、急に無視をされたり、仲間に入れてもらえなくなったりしました。理由がわからず悲しい気持ちが続いています。

<考えたこと>

4 気づいたことや考えたことを書きましょう。